

申請団体審査講評

No.	団体名
1	特定非営利活動法人 こどもの未来をかんがえる会 ※上記団体を幹事団体として、以下2団体とのコンソーシアムとして申請 合同会社きざし 富士見町商工会
	事業名 富士見・八ヶ岳山麓地域の未来のまちづくり・ラボ実現プロジェクト
<p>●評価できる点</p> <ul style="list-style-type: none">・これまでの活動実績に基づいて、交流の場、活躍の場、創造の場づくりを通じてソーシャルビジネスを創出しようとする先駆的な取り組み。・子ども・若者の居場所づくりを、よりポジティブに食の地域内循環に結びつける具体性が評価できる。・複数の関係者を巻き込んだ推進体制とここまでの取り組み成果を評価。モデルとなるよう頑張ってください。・組織もしっかりしていて実行力にも期待できる・富士見町を基点にしながらい県境を越え、北杜市を含む八ヶ岳地域をつなぐ事業になり得る <p>●課題</p> <ul style="list-style-type: none">・事業終了後の継続に向けた検討が課題か。・推進はコンソーシアムメンバーでの意思疎通が重要。留意して欲しい。・県境をまたいだ取り組みも意識してほしい。・多様性の観点からも進捗過程で生じる発展的可能性を生かして欲しい。・自己負担割合増は必ず努力してほしい。	

No	団体名
2	特定非営利活動法人 河原部社
	事業名
	SOCIAL FOOD DELI 「ニラサキサラニ」
<p>●評価できる点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者の流出という問題に対して、働く場づくりを通じて地域の担い手を育成していこうとする意欲的な取り組み。 ・市の委託事業でここまで上げてきた実績は素晴らしい。 ・シェアリングエコノミーやコレクティブインパクトの発想もぜひ活用してほしい。 ・若者自身の行動力に期待できる。 ・20代中心の法人だが、葦崎駅前を拠点にして若者のコミュニティづくりに取り組み、市内外の人々の交流を生み出すなど、積極的に事業を展開しており、今事業にも信頼性が持てる。 <p>●課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業終了後の自走を視野に入れた計画が練られているものの、アウトカム指標の設定及び測定方法が不明であり、その効果は未知数。 ・事業の狙いはよく評価できるが、なぜ高リスクな飲食店開業なのか課題との関連が見えない。理事長の得意分野ということのようなので、ならばそれを活かして、現代の飲食店起業時の課題を、特に若者が助成金に頼らずに克服するノウハウを確立してほしい。 ・ガバナンスに関しては不明な点があり懸念。外部会計監査を契約前に必ず実施していただきたい。 	

No	団体名
3	特定非営利活動法人 bond place
	事業名
	社会的処方を目指した生態系モデル構築事業
<p>●評価できる点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「リンクワーカー」の育成により、地域の新たなつながりづくりを目指している。 ・社会的処方の重要性はよく評価できる。 ・南アルプス市から事業委託を継続している。代表理事は県内の講演会活動でも知られている。 <p>●課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目指すべきビジョンに対して、アウトカム指標及び事業内容に具体性を欠き、その実現に向けた道筋と具体的な効果が見えにくい。 ・理念はいいが、具体的な展開がつかみにくい。 ・事業内容に疑問。毎年25人のリンクワーカーを育成する事業(3年で75名)のようだが、三年かけて調査・研究し成果はデータ集・ハンドブック(様式8記述など)。調査研究に留まるのではなく、具体的に「社会的課題の解決を担う若者の能力開発支援」をして欲しい。 ・社会的処方を学んだ75名のリンクワーカーの活動によって、現実の地域社会の中で小さくても良いので地域の課題が具体的に解決された(される)ことをKPI(指標)にして欲しい(報告書や学会報告、論文ではなく)。 ・助成金終了後の展開と持続性が心もとなく採択は厳しいのではないか。 ・組織としての基盤がやや脆弱か。 	

No.	団体名
4	特定非営利活動法人スペースふう
	事業名
	リユースお弁当箱がつなぐ地域デザイン事業
<p>●評価できる点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リユース食器によるお弁当の宅配サービスを通じて、相談と働く場づくりを行う意欲的な取り組み。 ・長年のリサイクル食器事業による実績と地域課題の掛けあわせの着想が素晴らしい。認定 NPO 法人でありガバナンスとコンプライアンスは安心できる。 ・事業計画内容も現実的で妥当。事業は若い世代が対象であり、この事業を通じて、組織の中心になる若手メンバーを育てて欲しい。そして県内や近隣間県のイベントでは全てリサイクル容器に置き換える位でさらに活躍してほしい。 ・具体的な取組が示されていて、評価できる。 ・富士川町の主婦を中心にリユース食器への取り組みで長い実績がある。この取り組みをさらに発展させる形での女性や貧困対策で、具体的であり、期待が持てる。 <p>●課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アウトカム指標や事業の具体性や事業の継続性がどのように担保されるのか不明。事業スキームや実施体制などの明確化が必要。 ・お弁当代は受益者から（状況に応じて価格差をつけるとしても）必ず受領してもらいたい。それがこの事業自体の持続可能性につながる。 	

No.	団体名
5	高校生の企業研究会
	事業名
	高校生のじもと研究会
<p>●評価できる点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生と企業との対話の場づくりを通じて、若者の地元定着を図る取り組み。これまでの取り組みを通じて、地元企業との連携関係を構築しながら、着実に参加者数を増やしてきた実績は評価できる。 <p>●課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者の地元定着数は、アウトカムとして必要ではないか。 ・組織基盤や急用度の高さに懸念がある。 ・高校生のキャリア教育は行政や民間企業が手を付けているところが多く、新味があまりない。組織基盤も脆弱に見える。 	

No.	団体名
6	一般社団法人 リコネクト
	事業名
	地域から「ホンモノ」を発信する地域ブランド育成事業
<p>●評価できる点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発想はいいが経営基盤や事業展開に懸念。 <p>●課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域産品が対象ではあるものの、商品販売のECサイト拡充であり本制度の趣旨に沿わない。純粋に営利事業として金融機関等融資で資金調達して発展されたい。 ・代表理事は合同会社リコネクトの代表社員でもあり両者の線引きが不明確。ガバナンス、コンプライアンスで問題がある。 ・WEBサイトによるブランド化を通じて、こだわりの商品の販路拡大を目指す取り組み。既存のWEBサイトでの販売であれば実現可能性は高いものの先駆性は高くなく、また社会課題の解決に向けたアイデアや具体性が見えにくい ・県内在住スタッフが1人というのが気にかかる。都市部のスタッフが販路を形成する可能性があるかもしれないが未知数に映る。 	

No.	団体名
7	株式会社 ONE-LIFE
	事業名
	みんなで子育てしやすい場所づくり
<p>●評価できる点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耕作放棄地における農業を通じて、孤独なママ世代・シニア世代の居場所づくりや生きがいをづくりとともに、介護職員の育成も行う意欲的な取り組み。農地や古民家の確保なども予定されている。 ・事業の着眼点はよい(地域課題解決に資する)ので、会計を完全に株式会社と分離させて実施できないか(例：別法人)。 ・安定性がある。 ・介護事業を展開しており、体制、組織的にも安定しているように感じる。 <p>●課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業化に際しては、栽培指導や加工品の製造、販路の確保など、さらに多様な事業者との連携関係を構築することが必要。 ・介護事業の株式会社法人であり、直近決算が赤字で内部留保も少ない。今期決算はコロナ影響でさらに経営状態は悪化すると想像され、こうした本体事業の赤字補填に使用されないという確証が得られない。役員が家族のみであり、外部チェックが効かない。ガバナンスとコンプライアンスの点で強い懸念。 ・大豆加工の厨房改修費用に助成金のほとんどを充当する計画だが、この事業内容でそこまで要するか精査が必要。採択される場合には、会計の透明性確保を具体的にどうするか、契約前に事務局から指導して欲しい。 ・事業の詳細計画が課題。 ・現在の介護サービスの上に新たな事業を展開する実効性についてやや不安がある。 	

No.	団体名
8	地域活性化工房 杜の風舎
	事業名
	別所温泉 里山アグロフォレストリープロジェクト
<p>●評価できる点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・里山文化を継承しつつ、若者や移住者、女性などとともに地域活性化を推進する取り組み。地域との信頼関係を構築しており、支援側の体制は充実しているが、当事者となる住民や住民間の関係が見えにくく、事業化に向けた合意形成は未知数。 ・事業内容自体は地域課題をよく捉えており、推進を期待したい。準備会での実績と地域の大学も深く関わっている取り組みのようでその点も評価。 ・評価できる。計画を着実にこなしてほしい。 ・1年間のリサーチ、準備を経て団体を設立したということで、堅実性とともに将来設計の安定性を感じる。全国的な課題である空き家対策と衰退する林業を結び付ける面白い試みだと思う。 <p>●課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動報告書や決算書関係がまったくないのでガバナンスやコンプライアンスを評価しづらい。 ・助成金の使途が外注や委託が多く、特に、活動拠点づくりに300万円計上されているが、むしろ参加者を募って手がける方が社会関係資本の蓄積にもなる。 ・採択される場合には、事務局には使途について適切で効果的になるよう指導を行って欲しい。 	